

二本松学院30周年記念展
ニュイ・ブランシュ2021
Nuit Blanche 2021

紙のカタチ展

-平面から立体の世界へ- Dimensions of Paper



前期 2021年10月1日（金）～2021年10月25日（月）
京都伝統工芸館

後期 2021年11月5日（金）～2021年11月30日（火）
鴨川七条ギャラリー



紙のカタチ展

-平面から立体の世界へ-

Dimensions of Paper

■ 開催主旨

京都伝統工芸館は日本の伝統工芸の作品や技を通じて、日本文化の魅力を紹介展示してきました。今回の企画は、日本の伝統文化のひとつである“折り紙(折り紙)”に光を当て、その技の可能性を探ろうとするものです。江戸時代に建築を説明するためにはじめられた“起こし絵”ページをめくると素敵な世界が広がる“飛び出し絵本”その発想を水平展開して日本で始められた“折り紙建築”さらにはフランスの人間国宝にあたる作家のシルヴァン・ル・グエン(Sylvain Le Guen)による創作扇子などを展示します。1枚の紙(ペーパー)が様々な姿に変わる不思議さを味わっていただければと思います。なお、今回の展覧会は二本松学院30周年記念及びニュイ・ブランシュ(Nuit Blanche)2021の共催イベントです。

■ 展示概要

折り紙建築 Origamic Architecture



日本の折り紙にヒントを得て、1981年茶谷正洋によってはじめられた折り紙建築。新しい芸術として世界的な広がりを見せています。今回は、近現代の代表的建築の茶谷作品に加え、有座まさよ、五十嵐暁浩、木原隆明、古賀麻衣子、茶谷亜矢ら5名の作家作品も展示します。(作品数約50点)

創作扇子 New-dimensional Fans



フランスの人間国宝にあたるメートル・ダールの保持者シルヴァン・ル・グエン(Sylvain Le Guen)による創作扇子5点を展示いたします。日本の折り紙からの着想と華やかなヨーロッパ文化を融合させた独創的な創作扇子作家です。和紙以外にも、雑誌や香水のムエット(試香紙)を使った新しい扇子の世界観を創作しています。

ポップアップ絵本 Pop-up Books



ページをめくると動物や建物が飛び出す絵本(ポップアップ絵本)仕掛け絵本とも言われ、19世紀のヨーロッパで盛んに制作されました。不思議の国のアリスなどスタンダードな題材を扱ったものも多いです。今回は延藤文庫に収蔵されている絵本の中から、特定非営利活動法人まちの縁側育くみ隊に選んでいただきました。(5冊)

起こし絵 Architectural Paper Models of the Edo Period



江戸時代の建築図面である「起こし絵」。当時の大工(棟梁)は平面図・立面図及び室内の各部屋の展開図などを描いていました。一方で立体空間として説明するためにそれらの平面図を組み立てて立体化したものが「起こし絵」です。大工たちの検討の手段としても利用されました。庭木や家具まで詳細に表現したものも作られました。

- ・入 場 料 : 無料
- ・会期/会場 : 前期 2021年10月1日(金) ~ 2021年10月25日(月)
京都伝統工芸館 (京都府京都市中京区烏丸通三条上ル)
10:00 ~ 17:30 (最終入場17:00)
※10月1日は16:00~20:00まで開館、内覧会 14:00~16:00 (関係者のみ入場可能)
休館日 10/12, 13, 19, 20
: 後期 2021年11月5日(金) ~ 2021年11月30日(火)
鴨川七条ギャラリー(京都市東山区川端通七条上ル、京都美術工芸大学1F)
10:00 ~ 18:00 (最終入場17:30) 最終日10:00~17:00 (最終入場16:30)
休館日 土・日・祝日
- ・主 催 : 学校法人 二本松学院 京都美術工芸大学・京都建築大学校・京都伝統工芸大学校
- ・後 援 : 一般社団法人 京都府建築士会、一般社団法人 関西インテリアプランナー協会
在京都フランス総領事館、京都日仏協会、NHK京都放送局、京都新聞、KBS京都
- ・特別協力 : 公益財団法人ギャラリーエークウッド
- ・協 力 : 第16回ドコモモ国際会議実行委員会、NPO 法人まちの縁側育くみ隊、延藤文庫